

令和8年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の
サルによる被害防止管理委員会 会議録

1 会議の名称	令和8年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の サルによる被害防止管理委員会
2 開催日時	令和8年7月6日（月） 10時00分～11時00分
3 開催場所	富津市役所 5階 504会議室
4 審議等事項	（1）令和7年度事業報告及び決算について
5 出席者名	委 員 中山正之、荒井淳一、山下秋一郎、粕谷哲也、佐久間英維、 高橋芳和、永瀧一環（石井一成代理）、磯貝睦、根岸稔、 相川正和、青木智美、池田文隆、水上恭男、嶋野利郎 オブザーバー 岡山亮子（千葉県教育庁教育振興部文化財課） 伊藤大雪、片野優介（千葉県環境生活部自然保護課） 事務局 （調査団）直井洋司、白鳥大祐 （富津市）樋口峰昭、篠田優子、牧野啓介、大木颯太郎 （君津市）平野陽一、當眞紀子、朝倉 唯
6 公開又は非公開の別	☒ 公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人の人数	0人（定員 5人）
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

令和8年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の
サルによる被害防止管理委員会 会議進行表

会議：令和8年7月6日（金）10：00～ 504 会議室

（司会：篠田生涯学習課長）

（富津市） 篠田課長	本日は何かとお忙しい中、本会議にご出席を賜り、誠にありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます、富津市生涯学習課長の篠田でございます。よろしくお願いいたします。 会議に先立ち、大木主事から、お手元にお配りしました資料の確認を行います。
（富津市） 大木主事	お配りしました資料の確認をお願いいたします。 1 会議次第 2 委員名簿 3 席次表 4 委員会設置要綱 5 令和7年度事業報告書 6 令和7年度決算書 7 千葉県自然保護課提供資料 以上の7点です。
（富津市） 篠田課長	それでは、令和8年度 第1回 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。 はじめに、出欠席の報告をさせていただきます。 本日の会議は、出席委員14名、欠席委員0名です。よって、過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しておりますことをご報告申し上げます。 本日の会議は、富津市情報公開条例第23条第1項により公開となります。

	会議終了後、会議録を作成し、富津市及び君津市のホームページにて公開いたします。 なお、本日の傍聴人はいません。 会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承ください。 また、委員及びオブザーバーの変更がございます。 ・君津市清和地域市民センター所長が 佐久間 様に ・富津市建設経済部農林水産課鳥獣対策室長が高橋 様に ・富津市有害鳥獣対策協議会会長が 磯貝 様に ・千葉県中部林業事務所長が 青木 様に 今年度より、委員に就任していただいております。 また、 ・千葉県教育庁教育振興部文化財課 岡山 様に ・千葉県環境生活部自然保護課 片野 様に オブザーバーに就任していただいております。 本日、君津市経済環境部農政課長石井様の代理で君津市経済環境部農政課主幹永瀧様に出席していただいております。 続いて、委員長であります、中山富津市副市長から挨拶を申し上げます。
中山委員長	(副市長挨拶)
(富津市) 篠田課長	ありがとうございました。 ここからは、本委員会設置要綱第7条第3項の規定により、議長を中山委員長にお願いします。
中山委員長	それでは、議長を務めさせていただきます。スムーズな議事の進行にご協力をお願いいたします。 議題に入る前に会議録署名委員を2名決めたいと思いますが、慣例により私から指名してよろしいでしょうか。

委員一同	異議なし
中山委員長	ご異議もないようですので、池田委員と嶋野委員にお願いします。 では、議題に入ります。 議題（１）令和７年度事業報告及び決算について、事務局の説明を求めます。
(君津市) 當眞主幹	令和７年度事業報告書について説明いたします。 １ 被害防止 (１) 電気柵による被害防止 ① 維持管理 本事業対象の電気柵の点検・改修を行いました。報告書に本事業対象電気柵の一覧がございます。また、電気柵の点検結果を掲載しております。 ② 改修 令和７年度は富津市宇藤原地区U23 で 170m、君津市怒田沢地区のK23 で 50m、K21 で 60m実施しました。 (２) 被害実態調査 ３月に合計 45 戸を対象に聞き取り調査を実施しました。調査した場所は富津市 28 戸（宇藤原 8 戸、それ以外 20 戸）、君津市 17 戸を対象としました。 昨年度の調査結果と比較して被害率・被害指数を見ますと、減少している傾向がありました。しかし、いまだに「被害が大きい」という回答があるのが現状です。 近年では、報告書記載の品目以外にも新たに被害に遭う作物が出ています。開始当初から耕作状況や被害品目も変化し、多様化しておりますので、今後この被害実態調査の報告方法についても検討していきたい

	と考えております。 2 生態調査と個体数管理 (1) 電波発信器装着のための捕獲 電波発信器を装着するために箱わなを 8 か所に設置しました。箱わなの設置場所は富津市側が宇藤原、小倉、君津市側が西日笠、怒田沢、旅名、倉沢となっております。 令和 7 年度は 8 頭の捕獲がありました。捕獲個体には麻酔をし、外部計測、形態による交雑判定、血液サンプル採取を実施しています。形態による交雑判定では令和 7 年度に捕獲された 8 頭は総合的にニホンザルと判断されました。 捕獲個体のうち君津市倉沢で捕獲したクララ(個体名)に G P S 型の電波発信機を、怒田沢で捕獲したワカメ(個体名)に V H F 型の発信機を装着しました。 (2) 生態調査 令和 7 年度の追跡対象は、小倉 A 群、旅名 A 群、クララ群(仮称)、ワカメ群(仮称)の 4 群です。 小倉 A 群は、令和 7 年度当初は 2 頭の発信機装着個体のキコとアンがおりましたが、キコの電波が 5 月で確認できなくなりましたので、アンのみ通年で調査を行いました。 旅名 A 群は、V H F 発信機を装着していたヒナという個体がおりましたが、7 月で電波が確認できなくなりました。よって令和 7 年度の調査は 4 月から 7 月で終了しました。 クララ群、ワカメ群は調査期間が短いため仮称としましたが、それぞれの行動域を確認するとクララ群は旅名 A 群と同群の可能性があり、ワカメ群は西日笠 A 群と同群の可能性あります。 平成 23 年度まで毎年度実施していた指定地域およびその周辺に生息する群れ数調査では計 15 群程度確認していたことから、今回の結果は指定地域およびそ
--	---

(富津市) 牧野係長	の周辺に生息する群れの一部を確認できたに過ぎないと考えています。 (3) 個体数管理 富津市農林水産課、君津市農政課より有害鳥獣駆除(サル)の資料を提供していただき、取りまとめました。令和7年度の駆除数は、富津市67頭、君津市63頭、計130頭となっております。令和6年度は富津市49頭、君津市52頭、計101頭ということでしたので、令和7年度は29頭増ということになっております。 3 天然記念物指定地域の生息環境調査 天然記念物指定地域周辺の富津市宇藤原地区で、気温と降水量の特定を行いました。令和6年度につきましては4月1日から7月13日まで、自動観測機器の不具合で測定できませんでしたが、令和7年度は通年を通して継続ができております。令和6年度と比べてみますと、気温については最高気温が8月・9月は上昇しているという傾向が見られました。 降水量についてですが、令和6年度が通年の計測ができていなかったため、年間の合計での比較はできなかったのですが、月ごとで見えていきますと、降水量の増減が月ごとで激しい傾向が見られまして、令和6年度と比べて2倍以上増加した月が12月・2月、逆に2分の1以上少なかった月が8月・11月という結果になりました。 以上、報告いたします。 続きまして、令和7年度「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業決算書について、ご説明いたします。
-----------------------	--

	(歳入)	
	予算額	4,473,000 円
	収入済額	4,473,000 円
	(歳入内訳)	
	富津市	2,460,000 円
	君津市	2,013,000 円
	計	4,473,000 円
	(歳出)	
	報償費	
	謝金	18,000 円
	賃金	
	賃金	2,074,000 円
	(主任調査員	1,390,000 円)
	(調査補助員	684,000 円)
	旅費	
	交通費	340,020 円
	費用弁償	3,960 円
	需用費	
	消耗品費	1,492,462 円
	(電気柵改修	980,000 円)
	(電気柵維持管理	96,673 円)
	(電波発信機 L T-01	92,400 円)
	(電波発信機 G P S	203,500 円)
	(捕獲用餌代	55,697 円)
	(麻酔薬・投薬器等	40,480 円)
	(事務用品・花火等	23,712 円)
	借上料	
	借上料	423,950 円
	(機器借上料	100,000 円)
	(箱わな借上料	140,800 円)
	(センサーカメラ借上料	154,000 円)
	(電波発信器受信器借上料	8,800 円)
	(G P S 首輪通信機器借上料	8,800 円)

	(P C 使用料 11,150 円) 役務費 損害保険 7,705 円 通信連絡 112,903 円 (郵便代等 9,430 円) (センサーカメラ通信料 33,000 円) (G P S システム利用・通信料 66,000 円) (P C ソフト使用量 4,473 円) 計 4,473,000 円 以上で説明とさせていただきます。
中山委員長	ただいまの説明につきまして、調査団の方より補足等がございますか。
(調査団)	特にございません。
中山委員長	事務局の説明が終わりました。 ただいまの説明について何かご質問等ございますか。 よろしいでしょうか。ご質疑もないようなので、議題（１）令和７年度事業報告及び決算について、ご承認頂ける方は挙手をお願いいたします。
委員一同	(全員挙手)
中山委員長	ありがとうございます。挙手全員です。よって、本件は承認されました。 続きまして、次第４報告（１）今後の事業の検証について、事務局お願いします。
(富津市) 篠田課長	前回の会議で委員の皆様からご指摘いただいた「今後の事業のあり方」について、事業開始から 46 年が経過し、当時とニホンザルの行動範囲や地域の状況も

中山委員長	変化するなか、限られた予算で、より効果的な対策となるよう、事業のどの部分に重点を置いていくか、今後どのように事業を継続していくのかについて、現在、事務局、調査団で検討しております。 その中で、今後、地域の皆さんのご意見を伺いながら、方向性を定めていきます。 次回以降の会議で委員の皆様へ進捗をご報告いたします。 報告は終わりました。ただいまの報告について何かご質問等ございますか。よろしいでしょうか。 それでは続きまして、次第5その他（1）千葉県事業について、本日、オブザーバーとして千葉県環境生活部自然保護課から伊藤様と片野様にお越しいただいております。 千葉県自然保護課様からご用意いただきました資料について、ご説明お願いいたします。
(千葉県) 伊藤	私からは、千葉県自然保護課にて実施しているニホンザルの生息状況等についてお話しさせていただきます。 1 ニホンザルの群れの状況（令和7年度時点） (1) 群れの行動範囲 群れの一部のサルを捕獲してGPS発信機を装着し、ラジオ・テレメトリー法及び目視により、群れの行動範囲を把握する調査を実施しました。 令和7年度県事業では、鋸南・南房総地域の5群、君津・富津地域の3群、勝浦・市原地域の4群の行動範囲を把握しました。 (2) 加害レベル ニホンザルの群れの加害レベルを、環境省ガイドラインに基づいて評価したところ、県内の群れの加害レベルは、レベル2～4の間に収まり、レベル1以下の

	野生群やレベル５の極めて悪質な加害群の生息は確認されませんでした。 ２ 特定外来生物アカゲザルとの交雑状況（写真による形態判定） 特定外来生物アカゲザルとは南房総市と館山市の一部に生息している外来生物のアカゲザルで、ニホンザルとの交雑状況の把握を行っています。市町村から写真を提供いただきましてその写真をもとに、アカゲザルがどの程度の割合で含まれているかを地図で示しておりまして、青が濃いほど交雑率が高くなっています。君津市、富津市は少し高くなっています。 県自然保護課からは、以上です。
中山委員長	ありがとうございました。 ただいまの説明について、委員の皆様、ご質問等はございますか。
池田委員	県自然保護課のアカゲザル事業に対する今後の見通しについて教えていただきたいです。
(千葉県) 伊藤	まず、対策として２種類あります。現在の南房総市と館山市にあるサルの群れの５群に関しては完全に排除するという目標を立てていますが、そちらの見通しとしては、具体的にいつまでに何頭捕獲できるかを示せる段階ではないです。徐々に生息数自体が減ってきている状況で、群の規模自体も縮小傾向にあるので、このまま続けていきます。 二つ目として、アカゲザルの交雑対策ですが、こちらは着手段階であり、数年以内に実施していくというところです。

中山委員長	他にいかがでしょうか
粕谷委員	加害レベルのレベル５の極めて悪質な加害群の生息は確認されなかったということについてですが、これは全国的にこのレベル５の加害群は実際あるものなのですか。
(千葉県) 伊藤	他県においては、レベル５の加害群が確認されています。そういった所では人身被害があるというのは聞いています。
中山委員長	他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。 それでは続きまして（２）天然記念物「高宕山のサル生息地」の現状変更について、本日、オブザーバーとして千葉県教育庁教育振興部文化財課から岡山様にお越しいただいております。天然記念物「高宕山のサル生息地」の現状変更について、ご説明お願いいたします。
(千葉県) 岡山	天然記念物の現状変更ということですが、今年度、天然記念物の指定地の範囲内で植物の研究者の方がシダ植物の採取をしたいというようなご相談がありました。 内容としましては、指定地内を歩いて、シダ植物の葉を数枚採取するようなものと聞いております。 天然記念物の保護に大きな影響がないと考えますので、文化庁と協議の上、天然記念物の現状変更の申請書をご提出いただいた上で、先日現状変更の許可を出させていただきました。 県文化財課からは以上です
中山委員長	ただいまの説明につきまして何かご質問等ございましたらお願いいたします。

池田委員	要現状変更範囲と要協議範囲があるのですが、こちらでそういう仕事をする場合は、現状変更許可申請が必要なのですか。
(千葉県) 岡山	指定地域に準じた取り扱いとなります。
中山委員長	他にいかがでしょうか。
(事務局) 白鳥	シダ植物を採取する目的を教えてください。
(千葉県) 岡山	指定地域内のシダ植物の調査が十分に行われていないこともあり、指定地域内のシダ植物の植生などを調査するために行うためと聞いております。
中山委員長	他にいかがでしょうか？よろしいでしょうか。 続きまして、次第6その他について、委員の皆様から何かございますか。
	事務局からは何かございますか。
(事務局)	特にありません。
中山委員長	ないようですので、議長の職を解かせていただきます。 ご協力ありがとうございました。

(富津市) 篠田課長	中山委員長、ありがとうございました。 それでは、以上をもちまして、令和８年度第１回天然記念物「高宕山のサル生息地」被害防止管理委員会会議を閉会いたします。長時間にわたるご審議、ありがとうございました。
-----------------------	--